

活 動 報 告

日 本 語 ・ 日 本 事 情

中 川 正 弘

教室の窓から間近に新しい建物が見える。3月に移転を予定している文学部の校舎だ。工事もほぼ終わり、建築資材もだいぶ片づけられたが、回りを見るとまだ建築現場としか見えない。

広島大学が東広島市への統合移転途中にあり、これによって生じる問題がいろいろあることはこれまでも報告してきた。昨年4月には学部として最大規模の総合科学部が移転するというので、日本語の授業を受ける留学生も東千田キャンパス（広島市）と西条キャンパス（東広島市）の間でいくらか移動があるだろうと予想されていたが、開講授業数やクラス定員の配分に不都合が生じるほどではなく担当者一同ほっとしたことを覚えている。

どの学部の留学生にも関わり、コース、カリキュラムを設定、修正しなければならないわれわれにとって、学部単位の移転による学生の移動はこれからも注意深く窺っていかなければならない重要な要因だが、受講者数の変化には他にもいろいろな要因が絡んでいる。

広島大学に在籍する留学生総数は9月1日現在で550人と、数年前までの急激な増加から見ると、増加曲線はかなり緩やかになった。特別編成の日本語集中コース所属の者を除いて、初級の日本語を勉強しようとする留学生はみんなこの「日本語・日本事情」で開講する授業に来ているが、昨年前期（4月～9月）8名、後期（10月～3月）7名だったところが、今年は前期16名、後期17名と2倍以上に増えている（前期－中国人5名、バングラデシュ4名、ガーナ2名、スーダン1名、フィリピン1名、ロシア1名、韓国1名、インド1名／後期－中国5名、インドネシア2名、ドイツ1名、ヨルダン1名、タイ1名、スリランカ1名、南アフリカ1名、イギリス1名、ハンガリー1名、韓国1名、エジプト1名、バングラデシュ1名）。

この内、総合科学部所属の学生は前期4名（他は工学部5名、生物生産学部5名、教育学部1名、理学部1名）、後期はゼロ（工学部10名、生物生産学部2名、教育学部2名、理学部3名）だ。東千田キャンパスでは初級の受講者が大幅に減少しているが、総合科学部の留学生で初級の日本語を勉強する者がもともとそれほどの人数ではなかったことを考えれば、東千田の初級受講者数の減少も学部の移転以外の要因が働いているようだ。

彼らは身分としては大学院の受験準備をしている研究生、大学院生、客員研究員、外国人教官だが、やって来る時期も不確定な研究生の受け入れ状況こそ初級クラスの受講者数変化の最大の要因なのだろう。

当センターで行っている日本語の授業のうち、大学全体の留学生数の増加に比例して受講者数が増えるのはこの日本語・日本事情の講座だけである。他の特別コースは受け入れ自体に定員があるので、大学全体の留学生数が増えても人数的な変化はない。

かと言って、それらの特別コースとまったく関わりがない訳ではない。日本語研修コースや教員研修コースで日本語初級を終えた者で、さらに日本語の勉強を続ける者は日本語・日本事情の中級に来るからだ。専門が理系で、それほど高い日本語能力を要求されない者は専門のスケジュールの合間を見て途切れ途切れに授業にやってくるだけだったりもするが、ここ1・2年、専門が文系で、集中コースで初級を勉強した後、さらに日本語を磨くことが要求される者もかなり増えている。

そういう受講者の数的、質的变化がある一方で、数少ない教室はどれも20名がやっとの規模で増築できるわけでもない。

中級、上級ではこの定員をはるかに上回る授業も多くなっている。初級の方も上で述べたように前期16名、後期17名と、そろそろ教室定員に近づいてきたが、次年度の受講希望者がどれほどになるか、調査することも不可能であり、ただ気を探みながら待つばかりだ。

表1 日本語・日本事情授業科目

授 業 科 目	開 単 位 設 数	学 期 別 週 授 業 時 数			備 考
		前 期	後 期	通 年	
◎ 日 本 語 初 級 I	1	2	2		広島大学外国人留学生のための授業である。 日本語初級Ⅰから日本語初級Ⅳまでは前期又は後期で受講。 ただし、◎印の授業は東千田、西条の両地区で開講。
◎ 日 本 語 初 級 II	1	2	2		
日 本 語 初 級 III	1	2	2		
日 本 語 初 級 IV	1	2	2		
◎ 日 本 語 中 級 I	2	2	2		
◎ 日 本 語 中 級 II	2	2	2		
日 本 語 中 級 III	2	2	2		
日 本 語 中 級 IV	2	2	2		
日 本 語 中 級 V	2	2	2		
日 本 語 中 級 VI	2	2	2		
◎ 日 本 語 上 級 I	2	2	2		
◎ 日 本 語 上 級 II	2	2	2		
◎ 日 本 語 上 級 III	2	2	2		
◎ 日 本 語 上 級 IV	2	2	2		
日 本 語 上 級 V	2	2	2		
日 本 語 上 級 VI	2	2	2		
◎ 日 本 事 情 I	2	2	2		
日 本 事 情 II	2	2	2		
日 本 事 情 III	2	2	2		
日 本 事 情 IV	2	2	2		
日 本 事 情 V	2	2	2		
日 本 事 情 VI	2	2	2		
日 本 文 化	2	2	2		
日 本 語 特 講	15		30		

表2 日本語・日本事情授業内容

授業科目	単位数	担当教員	授 業 内 容	学期	備 考
日 本 語 初 級 I	1	深 見	日本語学習経験のほとんどない学習者を対象に基礎から日本語を教える。	前	西条
				後	キャンパス
	1	内 藤 (非常勤)		前	東千田
				後	キャンパス
日 本 語 初 級 II	1	中 川	日本語学習経験のほとんどない学習者を対象に基礎から日本語を教える。	前	西条
				後	キャンパス
	1	渡 部 (非常勤)		前	東千田
				後	キャンパス
日 本 語 初 級 III	1	今 田	日本語学習経験のほとんどない学習者を対象に基礎から日本語を教える。	前	西条
				後	キャンパス
日 本 語 初 級 IV	1	(未 定)	日本語学習経験のほとんどない学習者を対象に基礎から日本語を教える。	前	西条
				後	キャンパス
日 本 語 中 級 I	2	田 村	日本語初級を終わった程度の学習者に日本語を教える。	前	西条
				後	キャンパス
	2	後 藤 (非常勤)		前	東千田
				後	キャンパス
日 本 語 中 級 II	2	浮 田	日本語初級を終わった程度の学習者に日本語を教える。	前	西条
				後	キャンパス
	2	渡 部 (非常勤)		前	東千田
				後	キャンパス
日 本 語 中 級 III	2	下 村	日本語初級を終わった程度の学習者に日本語を教える。	前	西条
				後	キャンパス
日 本 語 中 級 IV	2	田 村	日本語中級Ⅰ～Ⅲを終えた程度の学習者に日本語を教える。	前	西条
				後	キャンパス
日 本 語 中 級 V	2	大 槻 (非常勤)	日本語中級Ⅰ～Ⅲを終えた程度の学習者に日本語を教える。	前	西条
				後	キャンパス
日 本 語 中 級 VI	2	渡 部 (非常勤)	日本語中級Ⅰ～Ⅲを終えた程度の学習者に日本語を教える。	前	西条
				後	キャンパス
日 本 語 上 級 I	2	深 見	ニュースの聴解をとおして時事日本語に特有の語彙、表現法を習得させる。あわせて日本語を聞きながらメモを取る技術を養わせる。	前	西条
				後	キャンパス
	2	深 見		前	東千田
				後	キャンパス

授業科目	単位数	担当教	授業内容	学期	備考
日本語 上級Ⅱ	2	中川	受講者に書いてもらった作文を教師の手による書き直し版と比較することで文法の理解を正しつつ、2つの日本語の差異をあらゆる角度から検討し、そこに浮かび上がる日本語、日本文化、日本社会の特質を総合的に考察する。	前	西条 キャンパス
	2	中川		後	
日本語 上級Ⅲ	2	多和田	日本文化に関する読み物を読みながら、文章においてこそ浮かび上がる言葉の意味を考察する。	前	西条 キャンパス
	2	古浦 (非常勤)		後	
日本語 上級Ⅳ	2	田村	短編小説をテキストとして使用し、読解を中心に、上級文法、文章表現、語彙の指導を行う。	前	西条 キャンパス
	2	後藤		後	
日本語 上級Ⅴ	2	大槻 (非常勤)	インタビューの音声とそのスクリプトなどを用い、日本語の自然な会話に触れながら総合的な表現力を養う。	前	西条 キャンパス
	2	縫部		後	
日本語 上級Ⅵ	2	奥田	音声映像メディアとスクリプトを統合的に使用し、日本語運用を詳細に分析することで日本語の理解を深める。	前	西条 キャンパス
	2	奥田		後	
日本事情Ⅰ	2	浮田	日本人の発想の特徴や日本文化・社会の構造と特色を講義・討論する。	前	西条 キャンパス
	2	柳澤 (非常勤)		後	
日本事情Ⅱ	2	水町	コンピューターでの日本語処理練習を通して日本語を教える。	前	西条 キャンパス
	2	未定		後	
日本事情Ⅲ	2	倉地	日本人の発想の特徴や日本文化・社会の構造と特色を講義・討論する。	前	西条 キャンパス
	2	高永 (非常勤)		後	
日本事情Ⅳ	2	今石 (非常勤)	日本の文化及び習慣等について考察する。	前	西条 キャンパス
	2	今石 (非常勤)		後	
日本事情Ⅴ	2	下村 (非常勤)	新聞、雑誌の記事、テレビ録画などを使って現代社会のさまざまな側面を考察していく。	前	西条 キャンパス
	2	下村 (非常勤)		後	
日本事情Ⅵ	2	未定		前	西条 キャンパス
	2	未定		後	

日本語日本文化研修プログラム

深見兼孝

広島大学では、昭和60年度より日本語日本文化研修留学生を受け入れているが、昭和62年度より特別経費の交付を受け、「日本語日本文化研修プログラム」を開始し、現在に至っている。このプログラムは、日本語研修（「日本語日本事情」で開設されているクラスから選択）、指導教官のもとでの課題研究、日本文化特別講義・見学プログラムからなる。平成4年度後期および平成5年度前期の日本文化特別講義・見学プログラムの概要は、次の通りである。

なお、研修生は研修の終わりに研修成果をレポートにまとめ、指導教官と留学生センターに提出することになっている。留学生センターではそれらのレポートをまとめレポート集として刊行する。

平成4年度後期

- | | | |
|-----------|---------|-----------------------------|
| 10月23日（金） | 見学 | 原爆資料館、平和公園、青少年センター |
| 10月30日（金） | 見学 | 広島城、縮景園 |
| 11月6日（金） | 講義 | 現代日本の女性問題（IWAD 平田富美子） |
| 11月13日（金） | 見学 | 宮島 |
| 11月20日（金） | 講義見学 | 西条の歴史（郷土史家 飯田米秋） |
| 11月27日（金） | 見学 | マツダ |
| 12月4日（金） | 見学 | 福山市 |
| 12月11日（金） | 講義実技 | 書道（学校教育学部 森井一幸） |
| 12月18日（金） | 講義 | 日本の方言Ⅰ—概説—（広島文化女子短期大学 高永 茂） |
| 1月8日（金） | 講義見学 | 陶芸（陶芸家 川原浩二） |
| 1月29日（金） | 講義 | 日本の建築（工学部 鈴木 充） |
| 2月3日（水） | 講義 | 日本文学（教育学部 相原和邦） |
| 2月5日（金） | 見学 | 尾道市 |
| 2月12日（金） | 見学 | ほう古堂（筆工場） |
| 2月19日（金） | 見学 | 郷土資料館 |
| 2月20日（土） | —21日（日） | キャンプ（似島） |

平成5年度前期

- 5月14日(金) 見学 岩国城・錦帯橋
- 5月21日(金) 見学 そごう坂物流センター
- 6月6日(日) 見学 花田植え
- 7月2日(金) 見学 キリンビール工場
- 7月10日(土) - 11日(日) キャンプ(似島)
- 9月10日(金) 修了式・懇談会

前々から「特別講義見学プログラム」を前半期に集中するよう学生の間から希望が出ていた。そこで、今回は前半期のプログラムを少し増やし、その分後半期のプログラムを軽くした。今回も「懇談会」において学生から同様の提案が出たので、今後は様子を見ながら前半期の比重を増やしていきたい。また、試みとして「日本語日本文化研修プログラム」とは別に映画の上映を行ったが、次回はそれを「特別講義見学プログラム」に取り入れることを検討している。

教員研修留学生コース（1992年10月～1993年9月）

峯 正 志

研修プログラム

I. 研修プログラム概要

A 教育学

- 1) 教育学、心理学、教科教育学に関する英語による講義演習。（一年）
- 2) 授業参観、特別活動見学をはじめ、その他各種の教育施設、社会教育の見学。
（一年）
- 3) 課題研究—指導教官の下で、各自の研修テーマを研修。（一年半）

B 日本文化、日本事情（一年）

- 1) 日本文化、社会に関する多方面からの英語による講義、実習
- 2) 文化活動に参加、各種文化施設の見学。

C 日本語教育

- 1) 日本語特講（初級～中級レベル）。（6ヵ月）
- 2) 上記以外の日本語・日本事情のクラス。（学生の能力、必要に応じて）

D 研修論文およびアブストラクトの作成

II. 研修プログラム内容

A 教育学

1) 講義・演習

1992/11/11（水）	「日本の教育制度」教育学部教授 青木 薫
1992/11/19（木）	「日本の初等・中等教育」教育学部助教授 安原 義仁
1992/11/26（木）	「日本の幼児教育」教育学部教授 祐宗省三
1992/12/10（木）	「各国の教育事情」教育学部助教授 二宮 皓
1993/1/28（木）	「日本の高等教育」留学生センター助教授 田畑佳則
1993/1/29（金）	「日本の教員養成」教育学部教授 吉田 正晴

2) 学校・教育施設見学

- 1992/10/23 (金) 広島市青少年センター
 1992/11/20 (金) 広島大学附属小学校・中学校・高等学校
 1992/12/2 (水) 広島大学附属幼稚園
 1992/12/4 (金) 広島市中央公民館・広島市立中央図書館
 1993/1/22 (金) 広島市教育センター
 1993/2/12 (金) 尾道商業高等学校
 1993/5/28 (金) 広島市立広島養護学校
 1993/6/15 (火) 呉工業高等専門学校
 1993/6/25 (金) 広島県教育委員会・広島 YMCA 学園
 1993/7/2 (金) 広島朝鮮中・高級学校

B 日本文化・日本事情

1) 講義・演習

今期は開設せず。

2) 見学

- 1992/10/23 (金) 平和記念公園・原爆資料館
 1992/10/30 (金) 広島市現代美術館・広島城・縮景園
 1992/11/13 (金) 宮島
 1993/2/12 (金) - 2/13 (土) 尾道市

C 日本語教育

1) 日本語特講 (1992年10月～1993年2月。週平均30時間)

	9:45-10:30	10:50-12:20	13:10-14:40	15:00-16:30
月	中 川	中 川	渡 部	渡 部
火	浮 田	浮 田	小 野	小 野
水	浮 田	浮 田	橋 本	橋 本
木	深 見	大 槻	深 田	深 見
金	縫 部	縫 部	浮田・多和田・中川・深見	

日本語講師

- 浮 田 三 郎 広島大学留学生センター教授
 多和田 眞一郎 広島大学留学生センター教授

中川正弘	広島大学留学生センター講師
深見兼孝	広島大学留学生センター講師
縫部義憲	広島大学教育学部助教授
深田昭三	広島大学教育学部講師
大槻温子	広島大学教育学部非常勤講師
小野由美子	広島中央女子短期大学助教授
橋本敬司	広島大学教育学部非常勤講師
渡部浩見	広島大学教育学部非常勤講師

2) 上記以外の日本語・日本事情のクラス（1993年4月～1993年9月。能力と必要に応じて選択）

D その他

1992/11/2（月）－11/3（火）庄原市ホームステイプログラム

1993/1/30（土）－1/31（日）国際交流活動研修会

（広島市似島臨界少年自然の家）

1993/2/2（火）－2/4（水）スキー研修（県民の森）

1993/2/22（月）－2/24（水）研修旅行（京都・奈良）

1993/6/18（金）－6/20（日）インターナショナル・ユース・セミナー

（国立江田島青年の家）

1993/7/10（土）－7/11（日）青少年との国際交流“BIG JAMBOREE”

（広島市似島臨界少年自然の家）

日本語研修コース

多和田 眞一郎

〔修了者〕

第十六期（1993年4月～93年9月）（13人）

氏名	クラスでの呼び名	国	生年	専攻	専門教育
Myint Myint San	ミンミンサン	ミャンマー	1959	教育行政学	広島大学
Balbin, Celia Rivera	セリア	フィリピン	1960	教育学	〃
Ribeiro, Paulo Sergio Machado	パウロ	ブラジル	1964	教育行政学	〃
Bahar, Rumana	ルマナ	バングラデシュ	1967	歯科学	〃
Teixeira, Eduardo Rolim	エドゥワルド	ブラジル	1968	歯学	〃
Escala, Shunek Mariel	シュネック	パナマ	1963	歯学	〃
Le. Duc Minh	レ	ベトナム	1962	船舶機械	〃
Farcasanu, Ileana Cornelia	イレナ	ルーマニア	1960	醸酵工学	〃
San Lwin	サンルイン	ミャンマー	1958	経営学	名古屋大学
Teo. Yeok Peng	テオ	マレーシア	1959	経済学	山口大学
Wresdiyati, Tutik	チュチック	インドネシア	1964	獣医学	〃
Iancu, Ovidiu Gabriel	ガブリエル	ルーマニア	1965	地質学	〃
Erni Johan	エルニ	インドネシア	1964	土壌科学	愛媛大学

第十七期（1993年10月～94年3月）（16人）

氏名	クラスでの呼び名	国	生年	専攻	専門教育
Shanmugam, Mohanasundari	モハナ	マレーシア	1960	教育心理学	広島大学
Tsendjav, Erdenebat	エルデネバット	モンゴル	1958	教育学	〃
Cotody, Kouloubouka Misshou Marcelline	コトディ	コンゴ	1959	理科教育学	〃
Fajardo, Amelia Clasara	アメリカ	フィリピン	1959	〃	〃
Kulesza, Ewa Maria	エバ	ポーランド	1959	障害児教育	〃
Kyaw Kyaw Khaung	チャーチャー	ミャンマー	1962	植物遺伝子学	〃
Diouf, Salif Figoro	サリフ	セネガル	1963	数学	〃
Mahmood, Arshad	マフムド	パキスタン	1963	生物学	〃
Wouatong, Armand Sylvain Ludovic	ウアトン	カメルーン	1958	地学	〃
Farkas, Tibor	ティボール	ハンガリー	1964	獣医学	山口大学
Nedelcu, Gabriela	ガブリエラ	ルーマニア	1967	工学	〃
Manyweathers, Jennifer Jane	ジュニー	オーストラリア	1969	応用化学	愛媛大学
Daw Tin Myo Kyi	ミョーチー	ミャンマー	1959	理科教育	長崎大学
Martosakir Suharto	スハルト	インドネシア	1960	〃	〃
Moch Busyairi	ブシェイリ	〃	1961	芸術教育	熊本大学
Dequina Helen Cabangal	ヘレン	フィリピン	1959	障害児体育	宮崎大学

日本語研修コース関係講師一覧

第十六期 (1993年4月～93年9月)

専任	多和田 眞一郎 田村 泰男	浮田 三郎 橋本 敬司	中川 正弘	深見 兼孝
非常勤	今石 正人 水野 由美 青木 薫 高田 和彰 北村 光孝	鴨瀬 昌幸 MAHARJAN, KESHV LALL 寺川 智祐 亦川 安正 吉田 将之	島田 智子 吉田 正晴 新谷 英章	松尾 馨 沖村 雄二 山口 登志子

日本語研修コース関係講師一覧

第十七期 (1993年10月～94年3月)

専任	多和田 眞一郎 田村 泰男	浮田 三郎 橋本 敬司	中川 正弘	深見 兼孝
非常勤	今石 正人 水野 由美 岡東 壽隆 若元 澄男 北川 隆司	鴨瀬 昌幸 山崎 昌廣 武村 重和 近藤 勝彦 山口 登志子	島田 智子 寺川 智祐 秋山 幹雄 大春 愼之助 北村 光孝	松尾 馨 松田 文子 金田 鈴江 吉田 和夫 吉田 将之

日本語研修コース (第十五期) 1992年度 (十月～三月) 成果報告

期 日	授 業 内 容 等	特 別 研 究 指 導 等	備 考
10/13	開講式 オリエンテーション		
10/14～10/16	面接、発音、ひらがな、 初歩文型		
10/19～10/23		10/23 健康診断 原爆資料館、青少年センター	
10/26～10/30		10/30 広島城、縮景園	
11/2～11/6			11/3 公休日 11/5 創立記念日
11/9～11/13		11/13 宮島	
11/16～11/20	中間試験		
11/23～11/27			11/23 公休日
11/30～12/4		12/4 福山市	12/3 「専門用語解説」開始
12/7～12/11			
12/14～12/18	期末試験		
12/21～1/7	冬期休業 (冬休み)		
1/8			
1/11～1/15			1/15 公休日
1/18～1/22			1/22,23 加計町ホームステイ
1/25～1/29	中間試験		
2/1～2/5		2/5,6 尾道市	
2/8～2/12			2/11 公休日
2/15～2/19		2/20,21 似島合宿	
2/22～2/26	期末試験、特別講義		
3/1	特別講義		
3/2	成果発表、修了式		

日本語研修コース (第十六期) 1993年度 (四月～九月) 成果報告

期 日	授 業 内 容 等	特 別 研 究 指 導 等	備 考
4 / 13	開講式 (11:00) オリエンテーション (11:30~12:00)		
4 / 14~4 / 16	面接、発音、ひらがな、 初歩文型	4 / 16 健康診断 (午前)	
4 / 19~4 / 23			
4 / 26~4 / 30		4 / 30, 5 / 1 広島市	4 / 29 公休日
5 / 3~5 / 7			5 / 3, 4, 5 公休日
5 / 10~5 / 14			
5 / 17~5 / 21			
5 / 24~5 / 28	5 / 25 中間試験		
5 / 31~6 / 4			6 / 3 「専門用語解説」開始
6 / 7~6 / 11			6 / 9 休み
6 / 14~6 / 18	6 / 15 前半期末試験	6 / 18, 19 岩国、宮島	
6 / 21~6 / 25			
6 / 28~7 / 2			
7 / 5~7 / 9	7 / 8 後半中間試験	7 / 10, 11 似島合宿	
7 / 12~7 / 16			
7 / 19~7 / 23			
7 / 26~8 / 31	夏季休業 (夏休み)		
9 / 1~9 / 3		9 / 3 マツダ	
9 / 6~9 / 10			
9 / 13~9 / 15	9 / 13 期末試験 特別講義		9 / 15 公休日
9 / 16	成果発表、修了式		